

「遺伝子組換え実験の倫理的側面」小テスト

学籍番号 \_\_\_\_\_ 所属 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

問1 次の文章は正しいか、正しくないか？（○で囲ってください）

- 1) ヒト上皮培養細胞に GFP 発現プラスミドをトランスフェクションしてゲノムに組み込むことは遺伝子組換え実験に該当しない。  
正しい or 正しくない
- 2) ヒト上皮培養細胞に GFP 発現レンチウイルスを感染させてゲノムに遺伝子を組み込むことは遺伝子組換え実験に該当しない。  
正しい or 正しくない
- 3) ノックアウトマウスから臓器を摘出する実験は遺伝子組換え実験に該当しない。  
正しい or 正しくない
- 4) ノックアウトマウスから摘出した臓器を用いた実験は遺伝子組換え実験に該当しない。  
正しい or 正しくない
- 5) 第一種使用とは拡散防止策をとらずに遺伝子組換え生物を用いることである。  
正しい or 正しくない
- 6) 現在、ヒトの受精卵へのゲノム編集技術の適用は法律によって禁止されている。  
正しい or 正しくない

問2 遺伝子組換え技術（含むゲノム編集技術）適用の規制の必要性に関して、あなたはどのような意見を持ちましたか？（あるいは持っていますか？）  
自由に意見を述べてください。また、その理由についても述べてください。